

中国地域における工業系公設試験研究機関の比較について

— 令和2年度データによる —

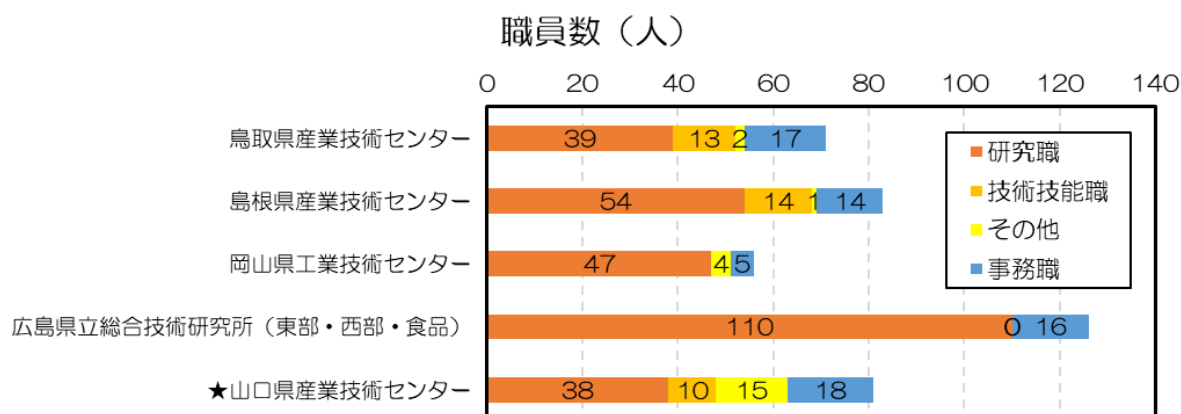
1 県勢等について

※令和2年度

県名	人口 (千人)	事業所数 (実数)	従業者数 (人)	製造品出荷額等 (百万円)	付加価値額 (百万円)
鳥取県	549	814	33,444	781,583	247,625
島根県	662	1,111	41,867	1,237,192	437,188
岡山県	1,859	3,147	151,056	7,704,136	1,804,586
広島県	2,747	4,577	218,639	9,741,531	2,711,693
山口県	1,326	1,671	95,585	6,553,479	1,942,919

2 各県公設試のスタッフ数について

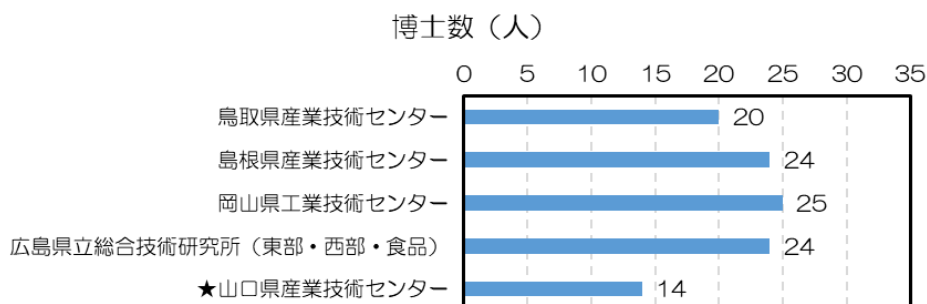
(1) 職員数



(2) コーディネート機能

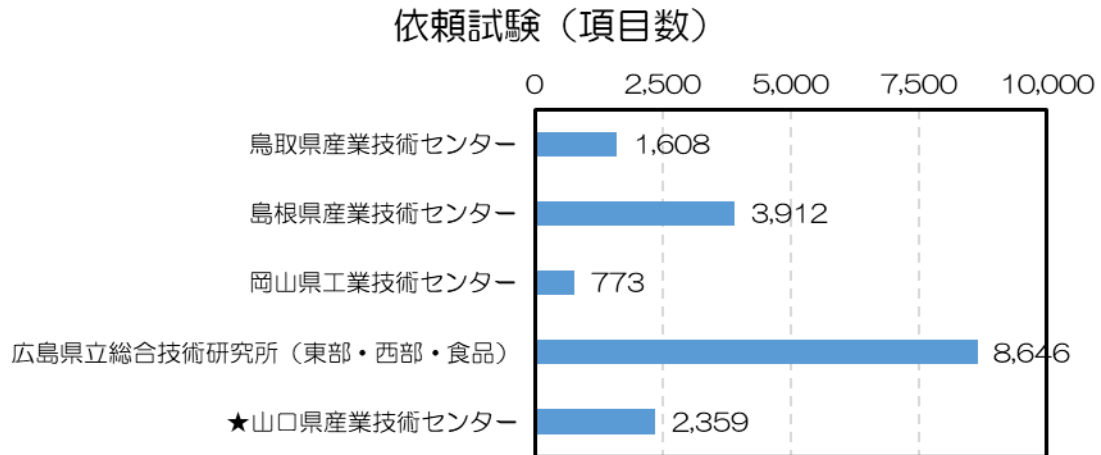
- ・ 機関が直接コーディネータを雇用しているのは山口県のみ（10名＋企業からの派遣3名）
- ・ 岡山県工業技術センターには、県（本庁）の事業で雇用したコーディネータ1名が常駐
- ・ 上記以外の機関では、関連する財団法人がその任にあたる

(3) 博士号取得者数について

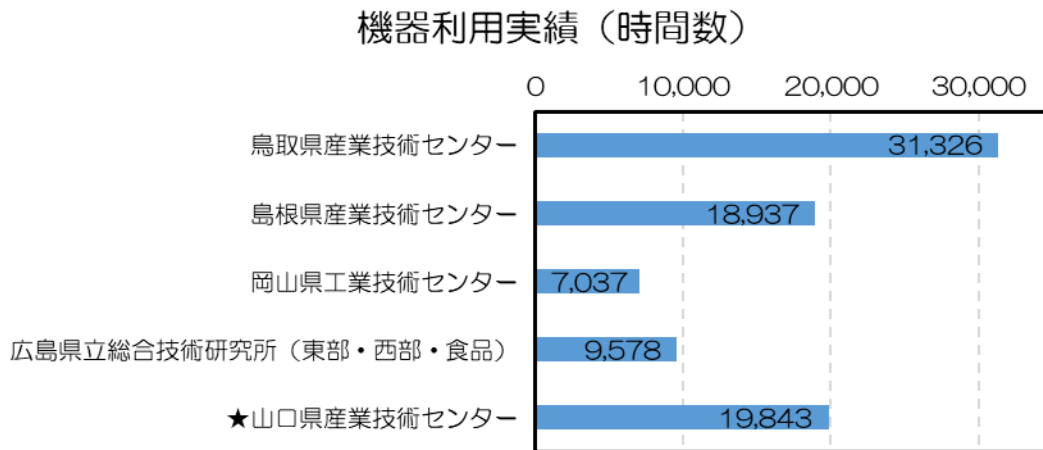


3 技術支援について

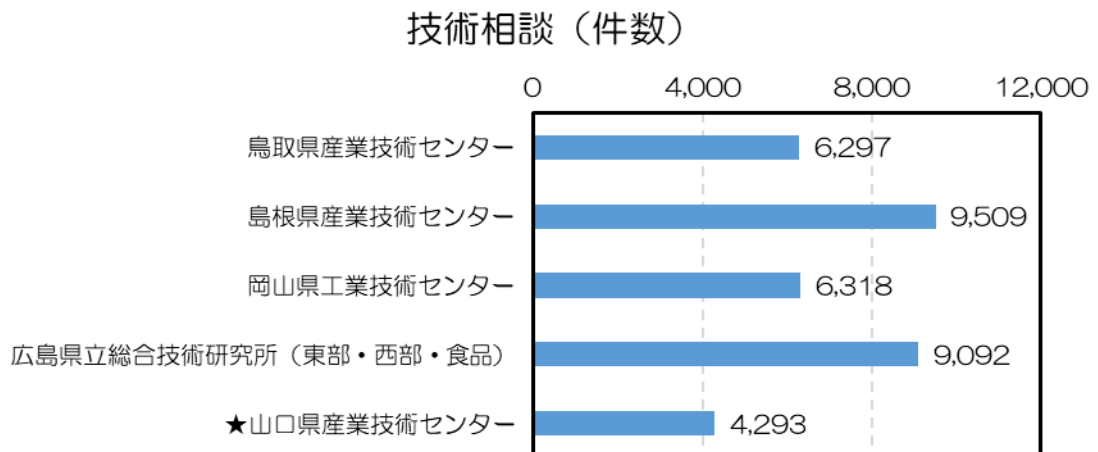
(1) 依頼試験



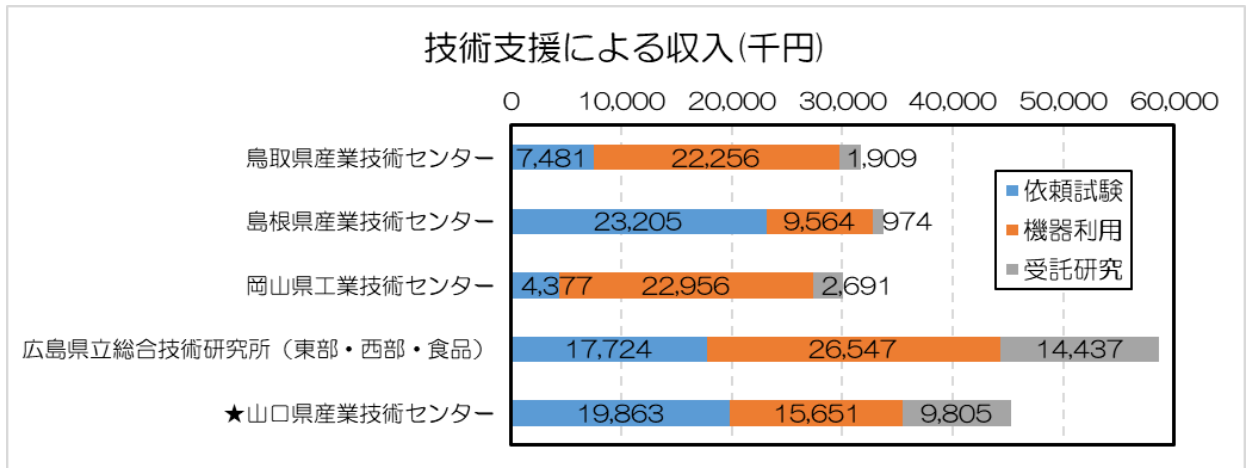
(2) 機器利用



(3) 技術相談



(4) 技術支援による収入

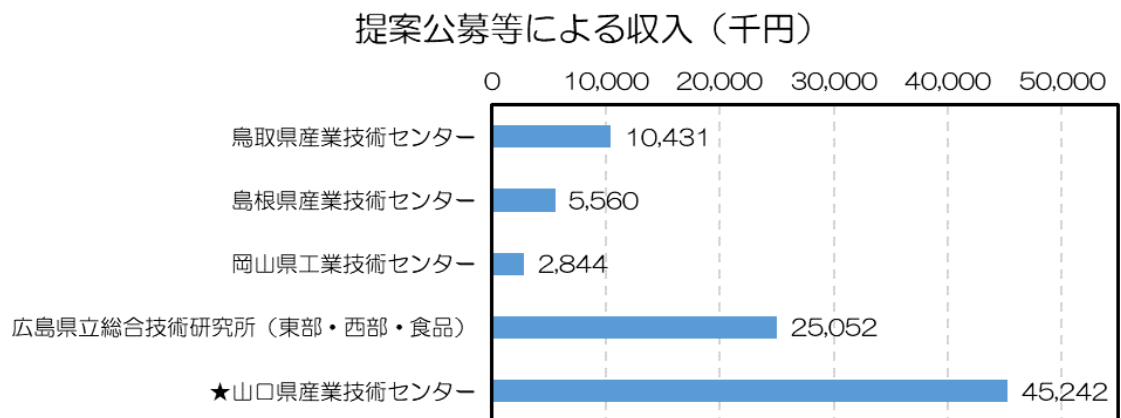


4 提案公募等について

(1) 事業管理機能について

サポイン事業等の事業管理機能業務を実施しているのは、山口県のみである。

(2) 提案公募等による収入について



5 特許等の実績について

